



# 「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第4号

令和4年4月6日

## 最高学年の6年生に期待する

6年生の先生方、どうぞ子どもたちをお導くください。

教員ではなく、教師として、お願いします。

「教師」という言葉には、重みがあります。教育に対する熱意と使命感のある教育者で、子どもファーストの理念をもつ人だからです。サラリーマンでもなく、研究者でもない。何卒よろしくお願い申し上げます。

昨日の4月5日に、6年生の3人の先生にお時間を頂戴し、私からのメッセージを子どもたちに伝えました。簡潔にまとめると、6年生に期待しているということ、人に尽くす喜びを知るレベルの高い人になってほしいということです。加えて、卒業式に笑って卒業できるように自分の姿を今からイメージしてほしいと話しました。もう少し詳しくお話しすると、以下のとおりです。

- ・幸せは巡るもの。だから自分の幸せを、友達に分けてほしい。つまり、人のためになることを厭わず、やってほしい。
- ・ありがとうは巡る。だから、「ありがとう」の言葉をたくさん遣ってほしい。
- ・糶谷に育ち、糶谷小で学んだことを誇りに思してほしい。
- ・大田区でNo.1の小学生になってほしい。等

その後、6年生は、本当に一生懸命働いてくれました。教室も、体育館もOK。糶谷小の6年生は、立派だなと思います。今日の入学式を、気持ちよく挙行できるのは、6年生のおかげです。自慢したいと思います。

